

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 デンヨー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6517 URL <https://www.denyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 隆法
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門長 (氏名) 田邊 誠 TEL 03-6861-1111
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	51,286	△2.4	4,799	△9.5	5,390	△7.5	3,547	△12.3
	52,524	△1.6	5,301	36.4	5,825	42.8	4,047	43.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 4,574百万円 (13.8%) 2025年3月期第3四半期 4,019百万円 (△38.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 173.44	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	196.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 104,668	百万円 82,813	% 76.0
2025年3月期	103,103	80,658	75.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 79,533百万円 2025年3月期 77,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 75.00
2026年3月期	—	45.00	—		
2026年3月期(予想)				55.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 72,000	% 1.8	百万円 7,300	% △1.3	百万円 7,700	% △3.8	百万円 5,100	% △9.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	21,859,660株	2025年3月期	22,859,660株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,512,381株	2025年3月期	2,401,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	20,453,802株	2025年3月期 3Q	20,643,535株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載の業績予想には発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は地政学リスクの継続や、アメリカの通商政策等の影響による景気の下振れリスクもあり先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、防災・減災関連の需要は堅調に推移いたしましたが、建設関連は、インフラの維持・更新や首都圏の再開発工事など建設需要が継続しているものの、人手不足や資材価格の高止まりを背景とした工事停滞による影響が一部見られました。海外においては、主力のアメリカレンタル市場における在庫調整が一巡し、需要は回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、非常用発電機の拡販や国内各地で行われた販売展示会への出展、アメリカ市場の受注拡大に努めてまいりました結果、売上高は512億86百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益47億99百万円（同9.5%減）、経常利益53億90百万円（同7.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益35億47百万円（同12.3%減）となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

なお、各セグメントの連結業績は、各地域を所在地とする当社及び連結子会社各社の業績を基礎としております。したがいまして、日本セグメントの連結業績は2025年4月から12月まで、日本以外のセグメントの連結業績は在外連結子会社の第3四半期決算日が9月末日であるため、2025年1月から9月までのものとなっております。

(日本)

日本は、国内向けについては、リース・レンタル会社向け可搬形発電機の出荷が、前期に大きく増加した反動もあり伸び悩みましたが、一般企業向け非常用発電機など設備用の出荷は堅調に推移いたしました。海外向けについては、アジア市場向けは低調に推移いたしましたが、アメリカ市場向け輸出が順調に推移いたしました。この結果、売上高367億73百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益31億83百万円（同6.1%増）となりました。

(アメリカ)

アメリカは、昨年度第2四半期以降続いているレンタル市場における発電機の在庫調整が一巡し、これに伴い当四半期からアメリカ工場の出荷が増加基調に転じました。この結果、売上高111億31百万円（同10.7%減）、営業利益7億92百万円（同40.4%減）と、減収減益ではあるものの回復傾向となりました。

(アジア)

アジアは、資源国向けの出荷は底堅く推移いたしましたが、香港やタイ向けなどの出荷が低調に推移したほか、ベトナム工場の出荷も減少したことから、売上高31億67百万円（同12.1%減）、営業利益3億89百万円（同29.6%減）となりました。

(欧州)

欧州は、主要な販売先であるイギリス向けが低調に推移したことから、売上高2億15百万円（同12.6%減）、営業損失12百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流动資産は、660億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億32百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債権が22億36百万円増加した一方で、現金及び預金が19億42百万円、売掛金が11億34百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、386億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億97百万円増加いたしました。これは主に、保有株式の時価の評価替え等により投資有価証券が28億34百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、1,046億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億65百万円増加いたしました。

(負債)

流动負債は、162億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億24百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が10億46百万円、未払法人税等が10億60百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、56億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億34百万円増加いたしました。これは主に、保有株式の時価の評価替え等により繰延税金負債が9億89百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、218億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億89百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は、828億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億55百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上35億47百万円や、その他の包括利益累計額の増加10億4百万円、配当金の支払19億11百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇し、76.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内では建設需要が底堅く推移しているほか、防災・減災関連の需要も継続して見込まれることから、堅調に推移するものと予想しております。海外では、各国の通商政策等の影響による景気の下振れリスクが懸念されるものの、主力のアメリカ市場の需要は回復基調で推移することを見込んでおります。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、市場動向を注視しながら、中期経営計画Denyo2026の各種投資及び施策を実行してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,500	21,558
受取手形	1,389	795
電子記録債権	8,552	10,788
売掛金	13,760	12,625
有価証券	998	998
商品及び製品	7,556	7,385
仕掛品	2,381	2,639
原材料及び貯蔵品	7,711	8,352
その他	802	876
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	66,647	66,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,947	13,490
機械装置及び運搬具（純額）	2,449	2,147
土地	6,462	6,584
建設仮勘定	317	16
その他（純額）	366	369
有形固定資産合計	23,543	22,608
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	10,758	13,592
繰延税金資産	598	519
その他	230	205
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,587	14,318
固定資産合計	36,455	38,652
資産合計	103,103	104,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,439	8,345
電子記録債務	2,349	3,279
短期借入金	1,772	725
未払費用	642	908
未払法人税等	1,374	313
賞与引当金	763	458
役員賞与引当金	82	49
製品保証引当金	673	620
その他	1,477	1,549
流動負債合計	17,575	16,251
固定負債		
長期借入金	2,299	2,147
リース債務	378	351
繰延税金負債	1,817	2,806
退職給付に係る負債	362	286
その他	10	10
固定負債合計	4,868	5,603
負債合計	22,444	21,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,954	1,954
資本剰余金	1,788	1,754
利益剰余金	67,249	67,255
自己株式	△3,228	△1,954
株主資本合計	67,764	69,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,000	6,937
為替換算調整勘定	4,443	3,537
退職給付に係る調整累計額	75	47
その他の包括利益累計額合計	9,518	10,523
非支配株主持分		
純資産合計	3,375	3,280
負債純資産合計	80,658	82,813
	103,103	104,668

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	52,524	51,286
売上原価	39,864	38,834
売上総利益	12,660	12,451
販売費及び一般管理費	7,358	7,652
営業利益	5,301	4,799
営業外収益		
受取利息	126	196
受取配当金	234	235
受取家賃	81	81
為替差益	68	39
持分法による投資利益	66	81
その他	31	33
営業外収益合計	608	667
営業外費用		
支払利息	73	60
その他	11	16
営業外費用合計	84	76
経常利益	5,825	5,390
特別利益		
固定資産売却益	4	21
投資有価証券売却益	190	11
特別利益合計	195	32
特別損失		
固定資産処分損	2	43
特別損失合計	2	43
税金等調整前四半期純利益	6,018	5,379
法人税、住民税及び事業税	1,606	1,452
法人税等調整額	113	211
法人税等合計	1,719	1,663
四半期純利益	4,299	3,715
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,047	3,547
非支配株主に帰属する四半期純利益	252	168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	1,929
為替換算調整勘定	△245	△1,050
退職給付に係る調整額	20	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	7
その他の包括利益合計	△280	858
四半期包括利益	4,019	4,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,747	4,551
非支配株主に係る四半期包括利益	271	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社における商品及び製品の評価方法は、従来、主として先入先出法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より主として個別法に変更しております。この評価方法の変更は、生産管理システムの更新を契機として棚卸資産の評価方法を再検討した結果、顧客の様々なニーズに応じて多種多様な製品を製造している現状を勘案し、より適正な期間損益計算及び棚卸資産の評価を行うことを目的として行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及修正は行っておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	917百万円	1,407百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,206	12,469	3,602	246	52,524	—	52,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,824	291	3,873	14	8,003	△8,003	—
計	40,031	12,760	7,475	260	60,527	△8,003	52,524
セグメント利益又はセ グメント損失（△） (営業利益又は営業損 失（△）)	3,000	1,330	553	△4	4,879	421	5,301

(注) セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,773	11,131	3,167	215	51,286	—	51,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,214	340	3,722	4	8,283	△8,283	—
計	40,988	11,472	6,889	219	59,569	△8,283	51,286
セグメント利益又はセ グメント損失（△） (営業利益又は営業損 失（△）)	3,183	792	389	△12	4,352	447	4,799

(注) セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

製品区分別及び販売地域別に分解した収益の情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

製品区分の名称	前第3四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減	前期比 (%)
発電機	43,491	42,032	△1,459	△3.4
溶接機	3,381	3,638	257	7.6
コンプレッサ	708	553	△154	△21.8
その他	4,943	5,062	119	2.4
顧客との契約から生じる収益	52,524	51,286	△1,237	△2.4
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	52,524	51,286	△1,237	△2.4

(単位：百万円)

販売地域の名称	前第3四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減	前期比 (%)
日本	30,143	29,166	△977	△3.2
海外	22,380	22,120	△260	△1.2
アメリカ	15,098	15,490	392	2.6
アジア	5,229	4,804	△424	△8.1
その他	2,053	1,826	△227	△11.1
顧客との契約から生じる収益	52,524	51,286	△1,237	△2.4
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	52,524	51,286	△1,237	△2.4